

令和2年第3回町議会定例会が9月17日から18日まで、2日間の会期で開催されました。審議されたのは、一般会計補正予算などの議案14件、報告12件、同意1件、意見書案3件で、いずれも原案通り可決しました。また、認定6件は決算審査特別委員会に付託され、閉会中に継続審査されます。



同意

- ◇厚真町教育委員会委員の任命
厚真町教育委員会委員に日西大介さん（表町・39歳）を任命することに同意されました。
- ◇所管事務調査報告（各常任委員会）
- ◇委員会調査報告（北海道胆振東部地震復興特別委員会）
- ◇財政援助団体等に関する監査の結果報告
- ◇定期監査の結果報告
- ◇現金出納例月検査の結果報告
- ◇教育委員会の事務事業の点検・評価報告
- ◇令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率
- ◇他5件

議案

- ◇厚真町課設置条例の一部改正
- ◇厚真町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◇厚真町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◇厚真町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◇厚真町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部改正
- ◇新町地区災害公営住宅造成工事請負契約の締結

財産の取得

- ・勤怠管理システムの購入：メインサーバー1台、タブレット端末12台
- ・取得金額：792万円
- ・取得の相手方：北海道市町村備荒資金組合
- ◇財産の取得
- ・学校給食センター厨房機器など
- ・取得金額：1758万9千円
- ・取得の相手方：まこと商事
- ◇北海道市町村総合事務組合規約の一部変更
- ◇北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更
- ◇北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更
- ◇令和2年度厚真町一般会計補正予算（第6号）
- 令和2年度厚真町一般会計補正予算額は、歳入歳出それぞれ2億9146万3千円が追加され、総額は130億4777万6千円になりました。補正された主な事業は、次の通りです。
- ・医療福祉介護従事者慰労金交付事業
：303万3千円
- ・介護施設等環境整備助成金交付事業
：314万5千円
- ・高齢者ウェブ見守り環境整備事業
：257万2千円
- ・厚真町新生児定額給付金
：300万円
- ・交流促進センター運営事業
：1174万6千円
- ・あつまるカード活性化促進事業
：1330万4千円
- ・飲食業・観光業等顧客拡大促進事業

補助金

- ：960万2千円
- ・飲食店応援緊急経済対策商品券事業
：303万8千円
- ・公営住宅一般管理事業
：3863万3千円
- ・宅地耐震化推進事業（豊沢、新町）
：1億2787万円
- ◇令和2年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）
- ◇令和2年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（保健事業勘定補正予算〈第2号〉、介護サービス事業勘定補正予算〈第1号〉）

意見書案

- ◇林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- ◇新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ◇国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

認定（付託）

- ◇令和元年度厚真町一般会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和元年度厚真町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和元年度厚真町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和元年度厚真町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和元年度厚真町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◇令和元年度厚真町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

町長行政報告（抜粋）

○農作物の生育状況について

今冬の積雪量は平年に比べ少なく、融雪期は平年と比較し10日早まりました。融雪後は温暖な傾向で推移し、春の耕起作業や種作業はおおむね順調に終了し、その後の生育は各作物とも良好となっています。

近年、気候変動が大きい年が続いています。また、本年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、農作物価格の下落や輸送費負担の増加など、農業経営にも影響が出ております。これらに的確に対応できるよう関係機関と連携して対応するとともに、災害復旧工事関係の大型車両の往来が続くなか、収穫作業の最盛期を迎えるにあたって、道路交通安全と農作業事故に十分注意されるよう生産者への呼びかけを強化してまいります。

○平成30年北海道胆振東部地震に係る災害復旧事業等の実施状況について

公共土木施設の災害復旧事業につきましては、国直轄の砂防事業は、日高幌内川やチケツペ川など、4溪流で砂防えん堤のかさ上げなど恒久対策の工事や用地買収に着手し、令和5年度の完成を目指し進められております。

次に、北海道が実施する二級河川や道道の復旧工事は、91カ所のうち75カ所が完成しております。残る箇所も本年度中の完成を目指し進められているところでです。

また、オバウス沢やメナの沢などの砂防事業10カ所と、吉野、富里地区の急傾斜地崩落対策事業2カ所につきましても本年度完成する予定です。町が管理する河川、道路、橋梁、公

園の災害では、北海道に代行委託した箇所を含め全体149カ所のうち121カ所が完成しており、残る箇所についても本年度中の完成を目指し復旧を進めているところでです。

宅地堆積土砂については、前年度に全箇所の復旧を終えております。治山事業につきましては、緊急的な対応が必要な箇所は災害復旧事業として62カ所、ほかに通常の事業を活用して80カ所、合わせて142カ所の工事が予定されていますが、着手済みは87箇所、そのうち62カ所が完了しております。着手済みの進捗率が61%で、令和5年まで事業継続の予定となっております。

林道につきましては、幌内宇隆線、幌内高丘線、谷内の沢線の3路線23カ所で災害復旧工事を予定しております。着手済みは19カ所、そのうち14カ所が完了しております。着手済みの進捗率が82%で、完了は令和3年度と見込んでいます。

被災森林の再生につきましては、北海道が主体となり、植林や緑化、自然回復等に関する実証実験に着手しており、試験区を設けさまざまな条件下で生育状況などを検証し、その成果を活用しつつ、今後の森林整備などを実施していくこととしています。

簡易水道につきましては、6月に浄水場の復旧が完了し7月末から全町に向け給水を開始しております。吉野地区では配水管の復旧が進められており、年度内をもって全ての事業を完了する見込みです。

公共下水道につきましては、令和元年度をもってすべての事業が完了しております。

農地・農業施設の災害復旧事業につきましては、北部地区を中心に土砂埋塞復旧工事として164カ所の承認を受け、関連事業実施に伴い廃止した16箇所を除き148カ所の発注を行い年度内に146カ所の工事が完了しました。他工事との関連により完了できていない高丘地区の農地（1箇所）および農業施設（隣接する水路1箇所）については、他工事との調整が整い次第、早期に工事を完了いたします。また、土砂の仮置き場となっている幌内沢地区については、令和3年度完成予定となっております。

国直轄の災害復旧事業（勇払東地区）につきましては、厚真ダムの洪水吐や取水施設、放水施設の復旧工事が実施されており、令和6年度完成予定となっております。

また、用水路については、厚幌導水路を主体に北部地区より順次復旧が進められており、令和3年度以降に、部分的に用水供給が行われる見込みです。農業者の農業用施設や機械の復旧に対する被災農業者向け経営体育成支援事業につきましては、最終的な事業申請は179戸、物件数は851件となり、大部分が令和元年度をもって完了しています。各種災害復旧工事により事業着手が遅れ、繰り越し事業となったものが14件ありますが、順次完了しており、本年度中に全ての事業が完了する見込みです。

農業者が、営農再開にあたり新たに発生した掛かり増し経費に対する支援を行う被災農業者営農再開支援事業につきましては、最終的な事業申請は83戸となり、令和元年度をもって完了しております。

被災家屋の公費解体につきましては、最終の申請件数は208件で、内訳は全壊148件、大規模半壊14件、半壊46件となっています。今年3月31日をもってすべて解体を完了しております。

また、一部損壊以上の家屋などを解体した場合の被災家屋等解体事業補助金の申請につきましては、令和元年度は住宅解体が10件、納屋などの解体が46件、本年度は住宅解体が3件、納屋などの解体が17件となっております。宅地耐震化推進事業につきましては、被害のあった造成宅地において、再度災害を防ぐ対策工事を新町地区およびルーラル地区で実施するため、現在、6工事のうち2工事が発注済みです。4工事については、発注準備を進めており、事業完了は、新町地区が令和3年度、ルーラル地区は令和4年度を予定しております。

災害公営住宅の整備につきましては、新町地区20戸、本郷地区8戸、上厚真地区4戸、合わせて32戸の発注が終了し、完成は10月を予定しております。また、公営住宅などの整備につきましては、新町地区30戸、上厚真地区16戸、合わせて46戸の工事を実施しており、完成は11月を予定しております。現在、町内では、多くの復旧工事が進められており、各発注機関と受注者で構成する災害復旧工事業安全連絡協議会を設置し、工事に伴う公害防止策と安全かつ円滑な工事の実施に取り組んでおります。胆振東部地震の被災から、一日も早い復旧を果たすため、今後関係機関との連携を図りながら、災害復旧事業などの早期完了に努めてまいります。